

第七次鳴門市総合計画策定のための まちづくり市民ワークショップの概要

目 次

1	ワークショップの概要.....	1
	（1）目的.....	1
	（2）実施テーマ.....	1
2	ワークショップの手法.....	2
	（1）ワークショップとは.....	2
	（2）「ワールド・カフェ」とは.....	2
	（3）「ワールド・カフェ」の効果.....	2
3	ワークショップの内容まとめ.....	3
	（1）オリエンテーション.....	3
	（2）テーブルに分かれて「語り合う」.....	4
	（3）「Oポイントカード」へ記入.....	5
	（4）話し合いの内容.....	6~11

1 ワークショップの概要

実施日時	令和4年7月30日（土） 13:30～15:30
対象	市内に在住又は通勤・通学されている方をはじめ、鳴門市に関わりのある15歳以上の方
参加人数	38名
実施手法	「ワールド・カフェ」方式

（1）目的

「第七次鳴門市総合計画」をまちづくりの主体となる地域住民の声や意見を反映した計画にするために、自由に意見交換を行う参加体験型の会議（ワークショップ）を開催しました。

ワークショップでは、安心して暮らし続けるまちであるために、地域の良いところやそれを広めるための取り組み等について話し合いを行いました。

（2）実施テーマ

鳴門市に めざしてほしい まちの姿
「鳴門は〇〇のまち」

人口減少や少子高齢化の進行、地域の人間関係の変化など、地域を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。未来の地域の姿を思い浮かべながら、目指していきたい鳴門市の「〇（まる）ポイント」を共有し、そのためまちに必要なモノやこれから8年間で特に力をいれて欲しい点について、参加者同士で話し合っていました。

2 ワークショップの手法

(1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなく体や心を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

(2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、コミュニケーションの手法です。

(3) 「ワールド・カフェ」の効果

- ・ 4～5人の少人数グループに分けることにより、年齢や職業にとらわれない参加者同士の自由な対話を行うことができます。
- ・ 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- ・ 席替えを行うことで、多くの人の意見を集められます。
- ・ 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。



3 ワークショップ内容のまとめ

(1) オリエンテーション

参加者の皆さんにワークショップ実施について、目的や趣旨の共有を図るとともに、「ワールド・カフェ」の方法について、説明を行いました。また、統計資料などから見える「鳴門市の現状クイズ」を出題するとともに、現在の市の状況について説明し、地域の現状や今後の姿を思い浮かべてもらう機会を設けました。

また、話し合いの前にはアイスブレイクを行い、「語り合う」ことの大切さを実感してもらう時間としました。

**みんなで語ろう！
鳴門市のまちづくり**

市民
ワークショップ

私たちができる、私たちにしかできない
まちづくりってなんだろう？

本日はよろしくお願ひします。
開始まで、しばらくお待ちください。

O or X
QUIZ

**鳴門市の今って
どうなってるの？
クイズ**

問 1

鳴門市の人口は
2005(平成17年)と比べて
7,000人以上減っている？

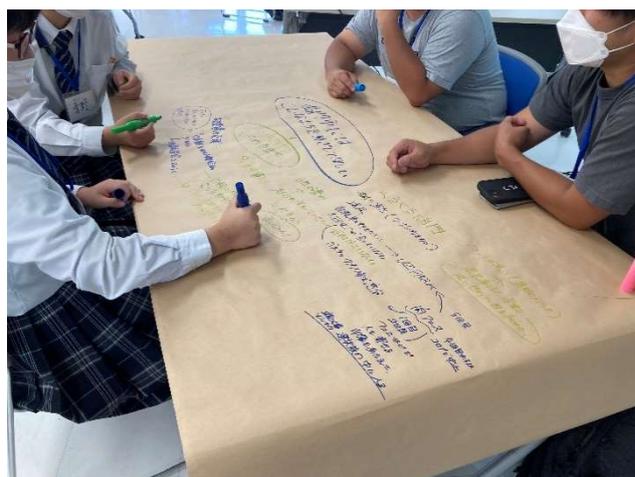
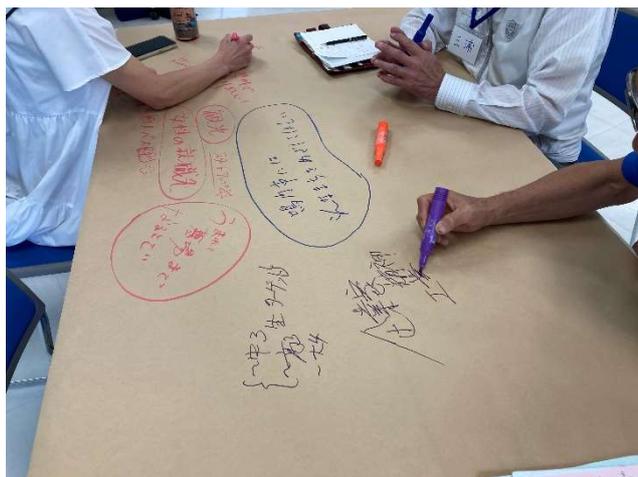
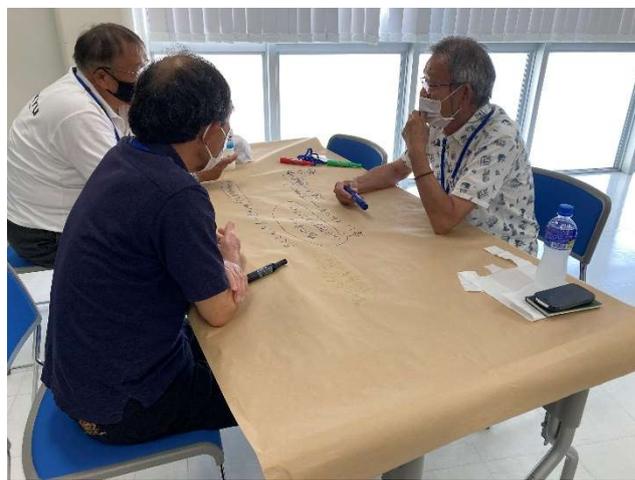
O or X



(2) グループに分かれて「語り合う」

4～5人のグループに分かれ、「鳴門市にはこんなまちをめざしてほしい」をテーマとして、語り合いました。話し合っている内容はテーブルに敷いてある模造紙にメモをしながら、グループのメンバーで共有します。

また席替えを交えながら、新たなメンバーでの情報共有や話し合いを深めてもらいました。



(3) 「まとめカード」へ記入

最後に、今回の語り合いを通して、「鳴門市に めざしてほしいまちの姿」と、そのために「これからの8年で力を入れてほしいこと」に関してカードに記入いただき、参加者の意見を取りまとめました。

また、それぞれの理由について説明を書き入れ、市民の皆様の細かな意見を集約しています。

鳴門市には
[] な“まち”を
めざしてほしい

説明

鳴門市には
[] に“ちから”を
入れてほしい

説明



(4) 話し合いの内容

カードへ記入いただいたご意見を項目ごとにまとめています。

【意見①】

鳴門市にめざしてほしいまちの形	解説	これからの8年で力を入れてほしいこと	解説
戻りたい(ふるさと)	生まれ育ったまちを離れ鳴門の魅力を再認識しUターンできるまちを整える。	子育て	保障・遊ぶ場・安心・安全の点。
万人のふるさとになるよう	ずっと鳴門に住んでいる人にも、もう一度県外へ出た人にも、帰ってきた時などに住みやすいまち。	情報伝達の強化	保障はあっても知らない人が多い、伝わっていない方法をやめ、市民の多くが情報を得られる状態。
自分らしさを出せる	自然や歴史を学びつつスポーツや趣味に浸ることのできる環境と周りの人の理解と得られる街。	鳴門のイメージUP	「若い人の感性がわからない」や「歴史分らない」ではなく、こっちも良いじゃんとか多方面理解を得れるように。
お金を気にしないよう	兵庫に行きたいのにお金が高くて行けない。	大学生の暮らし	スーパー、カラオケ、ボーリング場、生活や娯楽を作っていくなど。
地元愛溢れる	大人も子供も鳴門に誇りを持って暮らしていけば人も集まる	鳴門を知ること	子どもたちに歴史や文化を教えて、地元へ愛着を持った大人に育ててほしい。
子どもたちが誇れるよう	人口を増やすには若者がまちに戻ってきたいと思えるようなまちになってほしい。	教育	教育の過程で、鳴門の素晴らしい文化等を教えていき、県外へ出て鳴門で子育てをしてほしい。
教育重視	うずしお、わかめ、などの観光も活かしつつ、新たなイメージで●●の町みだいにできれば…	大学生の暮らし	毎年必ず何百人か新しく来るのだから、住みやすさをアピールできれば愛着を持ってもらえるはず。
住みよい	子育てにいい町。教育、高校入試。	都会からの流入	テレワークできる自然豊かな町。
誰でも住みやすい	子どもを育てやすい環境、経済的支援、車がなくても行きたいところに行ける交通利便性。	経済的向上	特産物のPR!!!観光地の整備とPR!
住みやすく安全	居住環境の良さが大きな魅力。さらに住み易さを向上するためには交通の利便性を改善、子育てしやすい環境も整える必要あり。	物流・人流・拠点整備	地の利を活かし、人・ものの交流拠点を発展、若い方の企業を支援し、人口の増大、受け入れ態勢を整備
製菓の	菓を研究する拠点として大塚さん、富田さんに協力を。	-	-
魅力的	堂浦等は釣り人の町(空き家利用)として全国にPRしてほしい。	-	やはり働く場、企業誘致が…
おしゃれ	商店街をカフェ通りにするなど、学生や女性が集まる雰囲気の流れを作る。	駅前(インスタ映え)	鳴門駅前の再開発、教育大がある利点を活かす。(通学への環境、ルートの開発)
オシャレでキラキラ	銀天街をカフェ通りに!古くても使える建物はリメイクして使用!!ランチや買い物で人気になると思う!!	古い建物	外見の修復は少しで、内装を「あ、」と驚くものに!映えやレポートできる気をひく

【意見②】

鳴門市にめざしてほしいまちの形	解説	これからの8年で力を入れてほしいこと	解説
おしゃれなキラキラ	「鳴門でしかない・できない」というカフェや交流の場を作れば若者が集まると思います。	建物のリノベーション	古い建物をもっときれいにリノベーションしてほしい。←若者の意見を取り入れた町づくりを！
おしゃれなきらきらした	交通の便をよくして「くるくる なる」と鳴門の文化・おしゃれなカフェを作り、若者から高齢者までいつでも楽しめる町	町のにぎわい	若い力を使って欲しい。未来を夢を持って進んでいる人々の意見を取り入れ、規制のあることは役場の方が頑張っという新しいものができるように
人口減にならない	観光地のPR。	仕事のできる	保育園の充実。
若い人が増えるよう	子供や女性への支援や働く場所・働き方。娯楽が少なく感じています。	楽しい場所	キャンプや海、室内でも遊ぶ場所が欲しい。
自然がいっぱい	キャンプ場、世界からいろいろな人が集まれる場所に。	あそび	うずパーク22時までやって。夜に若い子が遊べる場所が少ない。図書館も22時まで。
元気	若い人が集まるキャンプ場。山と海に一番礼所〜も。	子ども	共働きの世帯には子育てしにくい。夏休みにも給食を。
若い人が増えるよう	若い人が住みやすい楽しく、女性が働く場所に。	女性が働く所	女性が元気に子育てしやすい所になること
子どもが元気	もっと子どもに予算をかけてほしい。	遊ぶ所	子どもが健康的に楽しめる場所になってほしい
女性がかがやく	女性が生きやすく、心が軽くなるような温かい町のイメージがあれば子どもを育てやすいと感じ、人口増加につながると思うから。	子どもたちの日々の楽しみ	イオン、ゆめタウンまで遊びに行かなくても小さな遊び場、映画館・水族館などがあり、毎日の小さな楽しみにつながるような場所があれば鳴門という町がもっと好きになってもらえるかも。
若い力が発揮できる	高校生、大学生が卒業して起業できるようスタートアップ制度を構築し、クラウドファンディング式の資金集めで参加者を多くする。(支援者の応援)	出産人口が多くなる	合計特殊出生率を上げる。(出産第1子20万、第2子50万、第3子100万) 地域で子育てをする。大学は都会にいても鳴門に帰ってくる。奨学金制度(帰って来たら変換しなくてもよい)
デジタルに強い	スマホで全市民にオンライン発展のできる強靱化計画。交通アクセスをよく。	交流人口増	イベントの多い(若者が発見しやすい)・観光の町(帰ってこれる町)工業立市(福祉のまち)
●●の町と言ってもらえるよう	特徴がない。資源はたくさんあると思う。	企業誘致	大塚に代わる企業を市が作る必要がある。
子どもが集まるよう	家族の中心は子ども。子供が集う場所は自然と活気が湧くと思う。	観光	全国から来てもらうのはもちろんだが、徳島の子どもが楽しめる政策をお願いします。
交流人口・関係人口の大きな	交流や関係人口の増加→定住・移住へ。	観光・文化・スポーツ	観光・文化・スポーツから 交流関係人口が増加

【意見③】

鳴門市にめざしてほしいまちの形	解説	これからの8年で力を入れてほしいこと	解説
教育学園都市	教育大がある幼稚園が徳島。古いNo2。私立学校を作る。	教育費支援	少子化解消
若い人がずっと残ってくれる	人口増加を目指すには若者の興味を引ける街にしなければなりません。遊び、スポーツ施設、ミュージアム等を運営する。	鳴門の歴史発信	自分の町を好きになるには（若者が好きになるには）歴史を知らなければなりません。歴史を学び機会を作ってほしい。
若い人がぎらぎらしている	若い人がいるとエネルギーが満ち溢れていて楽しい町鳴門市になる！	若い人が住みやすい	魅力たっぷりの鳴門市をさらに若い力で活性化してもらい、移住や子育ての充実にもつながる。
観光で人流が生まれる	県内外から人を集め経済を発展させ、若い方が働ける環境を作り、まちを継続させていくことを望みます。	市政の改革	上記は民間行政が力を合わせなければ実現不可です。開かれた行政を願います。
女性の生活基盤のしっかりした	女性が働ける職場を確保でき、住みたいとおもえるまち（イベントなど）	イベントや職場	様々な人が生きたいと思えるイベントを催して、働きやすい職場を作る。
人が集まるよう	映画館や水族館などを作って週末などに行きやすい所を作る。	SNS	鳴門のことを「#鳴門」などで発信する。
ささえあうすてきな	ぎょうせい・住民・企業がスクラムを組んでいろいろなことを解決する。	体験や思い出作り	子どもや、観光で来る人が満足して「よかった」と思えることが増えるように、ハード面・ソフト面
子育てしやすい	子どもが増えないと町の発展がない。18歳未満の子供にかかるお金が増える。0円である。	子育て、定住人口の増加	鳴門市に住みたい！鳴門でなければならない！といったほかの自治体と比較してメリットの多い政策を策定してほしい。
スローライフ	自然環境を活かした食のまちづくり。オートキャンプ場	内の海、島田島	移住者と関係人口を増やす。
自然豊、心豊か	せっかく豊かな自然がいっぱいあるのだから、壊すことなく守ってほしい。	文化面	スポーツ施設はどんどんと構築されているけど、文化施設は全く増えていかないのは、町にとってマイナス。
幸せ	おいしい食材がたくさんあり人口増加をしても食料がたりる。第一次産業を日本一にするよう研究開発する（例）空き地は全て農地に。	若い人の定住	特に女性が安定安心して住める街にする。おいしい食材がたくさんあり、結婚して定住したいと思えるようにする。
人口が増加する	人が住むとエネルギーを使う、食料も消費する。物も買うので人口が増加するとそのほかの問題は90%が解決するため。	-	市民に仕事がある市にしてほしい。GH（グループホーム）をたくさん誘致して働く場もそこに住む人も増やしてほしい。
みんなが元気になる大型プロジェクトをぶちあげる	今できなくても8年後、20年後にできたらいいなという大型プロジェクトをぶち上げてほしい。鳴門に仕事もできるし、地価も上がるし、人も住んで、鳴門の経済が活性化すると信じている。20年後のことなので費用は度外視して考えて私たちが墓を見られる町にしてほしい。	もっとアライアンスをする市	例えばあわじ市と鳴門の共同で観光や食のプロジェクトを立ち上げて鳴門の枠を広げてもう少し大きな枠で他と組んで活性化させてほしい。
1次産業が日本一となる	鳴門は金時・梨・れんこん・大根・わかめ・鳴門鯛など素晴らしいものがたくさんある。売る工夫、PRなどが大切。	若い人の1次産業の参入	若い人、後継者が不足しているので1次産業の良さを知ってもらいたい。教育の一環として転職体験など。

「第七次鳴門市総合計画」
策定にかかるワークショップ
【実施報告書】

発行年月： 令和4年8月
発 行： 鳴門市
編 集： 鳴門市企画総務部戦略企画課
〒 772-8501
徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜 170
T E L： 088-684-1
F A X： 088-684-1336
